

# 財団法人 C.W.ニコル・アフアンの森財団

## 会計報告

### 第六事業年度

自 2007 年 4 月 1 日 至 2008 年 3 月 31 日

### 目次

成果報告書 .....	1
コスト説明の部.....	2
持分増減計算書.....	3
貸借対照表 .....	4
注記事項 .....	5
会計報告の作成目的.....	5
貸借対照表に関する注記 .....	5
成果報告書に関する注記 .....	8
収益事業について.....	9
公益法人会計による財務諸表.....	10
決算報告書 .....	12
貸借対照表 .....	14
正味財産増減計算書.....	15
収支計算書 .....	1
財務諸表に対する注記.....	19
監事報告 .....	23

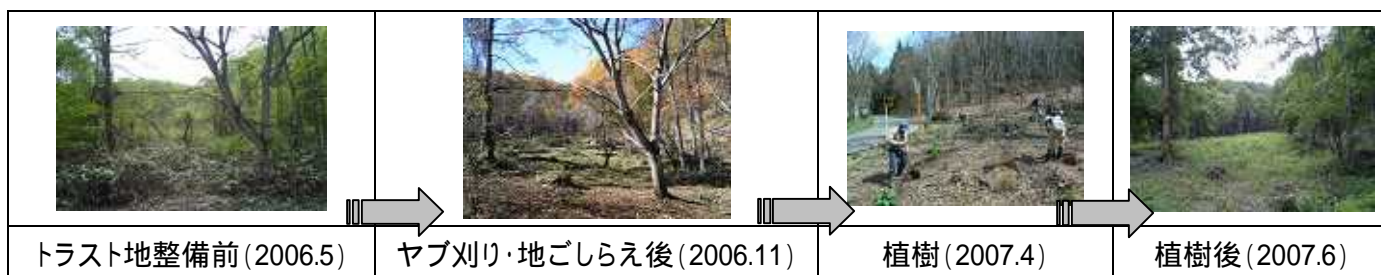
## 成果報告書

2007年4月1日より2008年3月31日まで

### 成果説明の部

#### 森の再生（森林整備、調査研究）

- ・ 継続して行なわれているトラスト取得地への植樹や間伐、整理伐・炭焼き
- ・ 森の現況や今後の整備の方向性を「森づくり指針」として文書でまとめ内容を検討。



#### ・ 調査よりの考察

造成した水路は、昨年にもまして多様な水辺・湿地環境を創出している。

ネズミ類の利用状況が特徴的であることがうかがえる。

アフアンの森は地域における水辺環境の保全・再生に対する役割が高い。

- ・ 調査計画として、アフアンの森全体を 20m 間隔の格子で区切り、整備作業や調査データなどを各メッシュで情報収集、分析し、GIS で管理することが検討会議で決まった。

#### 心の再生（5 センスプロジェクト）

- ・ アフアン「心の森」プロジェクトが4年目を無事終了。
- ・ アフアン「心の森」プロジェクトの参加者がつくった「アフアンの森のうた」が「森の JOMO カップ・緑の文化祭」にて、森の歌部門・小学生の部の“最優秀賞（林野庁長官賞）”を受賞、会員の集いにて演奏が披露された。

#### 普及交流（会員交流・普及啓発）

- ・ 会員見学会や会員の集いなどのほか法人交流会を初めて開催。
- ・ 年会費の自動引き落とし開始。
- ・ オフィシャルスポンサー、支援企業の増加。
- ・ 信濃町住民向け、地元森林療法グループ向け見学会を開催。
- ・ 支援企業の見学や森林ボランティアなどの件数の増加。

尚、詳細については、2007 年度事業報告書、および調査報告書を参照。

## コスト説明の部

単位：円

	<u>2006年度</u>	<u>2007年度</u>
発生費用の部		
【事業費】		
事業費		
国際交流事業費	0	26,634
森林整備事業費	923,638	731,884
調査研究事業費	2,153,350	2,162,286
普及事業費	3,861,539	4,842,943
森林整備事業 人件費	5,465,500	6,029,910
人材育成事業	1,417,699	848,924
心の森事業	9,211,320	8,270,414
心の森Ways事業	320,595	
循環型社会事業		
事業費合計	<u>23,353,641</u>	<u>22,912,995</u>
【管理費】		
人件費	6,920,916	11,413,449
運営費	4,108,452	3,192,676
設立準備費		
管理費合計	<u>11,029,368</u>	<u>14,606,125</u>
発生費用合計	<u>34,383,009</u>	<u>37,519,120</u>
費用負担の部		
【事業負担の部】		
人材育成収入	2,455,463	1,696,470
その他事業収入	1,398,900	3,425,605
事業負担の部	<u>3,854,363</u>	<u>5,122,075</u>
【事業外負担の部】		
アファン会費収入	3,700,000	3,690,000
基本財産運用収入	18,086	67,400
賛助会員収入	5,100,000	8,900,000
寄付金収入	19,537,281	21,050,162
助成金収入	1,000,000	
受取利息	10,647	28,588
その他	55,866	141,830
事業外負担の部	<u>29,421,880</u>	<u>33,877,980</u>
負担合計	<u>33,276,243</u>	<u>39,000,055</u>
持分形成	<u>-1,106,766</u>	<u>1,480,935</u>

## 持分増減計算書

各会計年度:4月1日より3月31日まで

	単位:円	
	2006年度	2007年度
指定正味財産		
期首残高	85,017,355	92,054,525
トラス預り金から振替	7,037,170	2,359,700
期末残高	92,054,525	94,414,225
一般正味財産		
期首残高	13,147,321	12,040,555
当期運営による持分増加額	-1,106,766	1,480,935
期末残高	12,040,555	13,521,490
持分合計		
期首残高	98,164,676	104,095,080
期中増減	5,930,404	3,840,635
期末持分合計	104,095,080	107,935,715
期中増減	5,930,404	3,840,635
期末持分合計	104,095,080	107,935,715

2006年度はアフアの森に隣接する13,924㎡の森を取得した。2007年度はアフアの森に隣接する5,147㎡の森を取得した。それぞれの購入金額を、トラス預り金から振替えた。

## 貸借対照表

参考のため第五事業年度を併記した。

各年度 3月31日現在

単位：円

	2006年度	2007年度		2006年度	2007年度
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
【流動資産】			【流動負債】		
現預金	26,580,486	27,950,113	未払金	3,679,515	3,745,090
書籍	244,825	760,009	前受金	4,140,000	2,235,000
貯蔵品	816,336		源泉徴収預かり金	55,170	117,918
前払費用		92,301	社会保険料預り金	96,640	162,014
未収金	26,200	1,506,100	トラスト預かり金	9,646,755	11,994,541
流動資産計	<u>27,667,847</u>	<u>30,308,523</u>	流動負債計	<u>17,618,080</u>	<u>18,254,563</u>
【固定資産】			【固定負債】		
(有形固定資産)			除却費引当金	711,309	861,570
建物	1,239,563	1,143,848	<b>負債合計</b>	<u>18,329,389</u>	<u>19,116,133</u>
車両	70,875	1			
備品	796,825	423,656	<b>持分の部</b>		
構築物	522,034	522,034	指定正味財産	92,054,525	94,414,225
建設仮勘定		166,761	一般正味財産	12,040,555	13,521,490
土地	62,054,525	64,414,225			
固定資産計	<u>64,683,822</u>	<u>66,670,525</u>	<b>持分合計</b>	<u>104,095,080</u>	<u>107,935,715</u>
(無形固定資産)	72,800	72,800			
(投資等)	30,000,000	30,000,000	<b>負債および持分計</b>	<u>122,424,469</u>	<u>127,051,848</u>
固定資産計	<u>94,756,622</u>	<u>96,743,325</u>			
<b>資産計</b>	<u>122,424,469</u>	<u>127,051,848</u>			

## 注記事項

### 会計報告の作成目的

財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団（以下 財団）の当該会計年度の運営が、会員を初めとする資金提供者に対して財団設立の目的にかなったものであったことを説明するために作成する。

すなわち以下の目的である。

- （１）森林や里山の保全育成活動
- （２）自然環境の復元に関する実践活動
- （３）森林や里山の生態系及び自然環境の復元に関する調査研究活動
- （４）生態系に関する調査や保全活動を担う人材の育成事業
- （５）自然保護のための放置林の買上げ及び保全活動
- （６）財団の活動内容並びに森林文化の普及啓発活動
- （７）自然共生型社会システムに関する調査研究活動

### 貸借対照表に関する注記

#### 固定資産の減価償却方法

建物・備品車両は、経年および利用により利用価値が減少する。これらの資産の取得価格を、減価償却の手法により費用化をおこなった。本年度より、償却を終了した資産に美貌各区1円を付すこととした。なお、減価償却費は事業費として計上している。

- ・ 定額法により償却計算をおこなった。
- ・ 貸借対照表への計上は直接法によっている。
- ・ 耐用年数は、法人税法の耐用年数を援用した。
- ・ 残存価格は、除却時の売却を想定しないので1円とした。

各勘定の明細は次のとおりである。

建物	取得日	取得価額	耐用 年数	減価償却 費	期末帳簿 価格
ゲストハウス	設立時	865,513	20	43,276	605,860
グラフィティ	設立時	282,585	14	20,064	161,598
グラフィティ	2003/10/13	490,518	15	32,375	376,390
<b>建物合計</b>		<b>1,638,616</b>		<b>95,715</b>	<b>1,143,848</b>

備品	取得日	取得価額	耐用 年数	減価償却 費	期末帳簿 価格
除雪機	設立時	513,208	4	0	1
野営用テント	設立時	121,039	2	0	1
野営用テント	2003/11/25	577,500	2	0	1
パソコン	2003/4/21	155,190	6	25,762	25,963
マルチメディアボード	2002/4/1	1,850,000	5	184,999	1
コピー機	2002/10/1	1,193,000	5	119,299	1
パソコン	2004/6/2	172,500	5	34,500	40,250
両面コピーオプション	2004/10/20	168,957	3	28,159	1
リコーレーザープリンター	2004/12/20	200,130	5	40,026	66,710
発電機	2005/11/8	107,100	10	10,710	81,218
パソコン DynaBook	2005/12/10	179,000	6	29,714	109,509
パソコン FMV	2007/8/24	120,000	4	20,000	100,000
<b>備品合計</b>		<b>5,357,624</b>		<b>493,169</b>	<b>423,656</b>

車両	取得日	取得価額	耐用 年数	減価償 却費	期末帳簿 価格
軽トラック	2004/3/3	189,000	2	70,874	1

#### 構築物への取替法の採用

アファンの森内の池及び橋の設置に関わる費用については設置時に固定資産に計上し、後年に発生する維持費については、発生当該事業年度の費用とする取替法を利用した。

### 除却費引当金の計上

有形固定資産は耐用年数の経過により利用ができなくなる。利用を終了した場合には、財団の環境を維持するために除却の費用が発生する。除却費引当金は、有形固定資産の利用に応じて除却費の発生を認識し計上している。

この明細は、次のとおりである。

建物		見積除去費用	当期引当金額	除却費引当金累計額
ゲストハウス	設立時	1,000,000	50,000	300,000
グラフィティ	設立時	300,000	21,428	128,570
		1,300,000	71,428	428,570

備品		見積除去費用	当期引当金額	除却費引当金累計額
除雪機	設立時	30,000	7,500	45,000
野営用テント	設立時	100,000	50,000	300,000
マルチメディアボード	2002.4.1	20,000	4,000	20,000
コピー機	2002.10.1	20,000	4,000	20,000
パソコン	2004.6.2	20,000	4,000	16,000
リコーレーザプリンター	2004.12.20	20,000	4,000	16,000
発電機	2005.11.8	20,000	2,000	6,000
パソコン DynaBook	2005.12.10	20,000	3,333	10,000
備品合計		250,000	78,833	433,000
除却引当金合計		1,550,000	150,261	861,570

### 持ち分の部の勘定科目名

当財団の取引の認識は発生主義によっている。資産負債差額は単なる収支差額ではない。当該会期間の運営が持分に与えた影響を示す。このため、資産負債差額は、持ち分とした。いわゆる資本取引により増減するものについては基本持分として表記している。

また、当法人は、アフアンの森周辺の森を新たに整備するために預った資金をトラスト預り金としている。この資金は土地の取得に応じて持分に表示される基本財産に振替えている。



## 成果報告書に関する注記

### 成果報告書の表示形式

成果報告書の表示形式は、吉田寛『公会計の理論』(東洋経済新報社)によった。財団の目的を達成するために発生費用と、その負担がどのようにおこなわれたかを表示した。

#### 管理費の内容

発生費用の部で要約表示した管理費の明細は次の通りである。

科目	単位:円	
	2006年度	2007年度
給料	5,248,460	8,494,748
賞与	200,000	900,000
雑給(アルバイト)		2,200
法定福利費	1,444,920	1,987,723
福利厚生費	27,536	28,778
<b>人件費計</b>	<b>6,920,916</b>	<b>11,413,449</b>
通信費	202,278	366,794
消耗品費	455,107	723,094
旅費交通費	343,060	279,386
会議費	111,798	56,083
租税公課	283,810	134,800
支払家賃	360,000	360,000
水道光熱費	61,846	89,353
手数料	274,660	280,320
保険料		3,000
新聞図書費	20375	30,959
減価償却費	1,213,076	659,758
除却費引当金繰入額	150,261	150,261
雑費	632,181	58,868
<b>運営費計</b>	<b>4,108,452</b>	<b>3,192,676</b>
<b>総計</b>	<b>11,029,368</b>	<b>14,606,125</b>

## 収益事業について

税法上土地の賃貸借契約による土地の賃貸と書籍の販売また本年度より開始した薪炭の販売は、収益事業として取扱われ課税の対象となる。

昨年度および、本年度の土地の賃貸借による収入、書籍販売および薪炭の販売に関わる収益は下記のとおりであった。書籍に関わる収益と費用は成果報告書において普及事業費において計算され、薪炭の売上代金はしている含み収益はその他事業に含んでいる。

	単位: 円	
収入の部	2006 年度	2007 年度
土地賃貸借収入	600,000	600,000
書籍売上	935,414	650,810
収入合計	1,535,414	1,250,810
費用の部		
森林整備事業 人件費	5,465,500	6,029,910
森林整備事業費 経費	923,638	731,884
書籍売上原価	612,734	877,340
費用合計	7,001,872	7,639,134
収益事業利益	-5,466,458	-6,388,324

## 公益法人会計による財務諸表

会計は、資源を預かった人が「ありがとう」の言葉を受けただけの仕事をしたか・否かを伝える。「ありがとう」の言葉を受け価値のある仕事をしたのであれば、継続して資源が提供される機会が増え、なければ資源の提供は打切られる。財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団の会計報告は、「この人に任せてよいのか」という機能が発揮できる様に作成している。環境再生や教育などの継承財を提供する公益法人の規範となる。公益法人の会計について総務省は、平成16年10月14日に「公益法人会計基準」を公表した。この会計基準は、「公益法人会計に関する一般的、標準的な基準を示したものであり、公益法人会計の理論及び実務の進展に即して、今後、更に充実と改善を図っていこうとする」性質を持つとしている。会計基準は、一般に公正妥当と認められたところを要約するものであり、強制により流布されるべきものではない。会計報告が何を誰に伝えるのかの特定をしなければ有用な会計報告にはならない。総務省の会計基準では、会計主体の会計報告が誰に何を説明するかの配慮はなされていない。規範となったのは企業会計であったが、むしろ参考とすべきは財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団の会計報告である。政府の補助金により運営される公益法人であれば、監督官庁の基準に従わざるを得ない。財団法人C.W.ニコル・アフアの森財団は、政府の補助金に依存しない公益法人である。C.W.ニコル・アフアの森財団の会計報告は、資源の運用を委ねた会員ならびに資金提供者に与った資金の運用が正当であったことを報告する。今後の公益法人会計が、有用な会計情報を提供できる様に、当財団でも「公益法人会計基準」によった財務諸表を添付し、二つの会計報告の比較検討を容易にした。



決 算 報 告 書

(第 6 期)

自 平成19年 4月 1日

至 平成20年 3月31日

財団法人 C. W. ニコル. アファンの森財団



【財団法人 C. W. エコル。アファンの森財団】

貸借対照表

平成20年3月31日現在

(単位：円)

	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
<b>I. 資産の部</b>						
1. 流動資産	30,308,823	27,667,847	2,640,676	18,284,563	17,618,080	636,453
現金	108,059	95,903	12,156	3,745,090	3,679,515	65,575
預 金	27,842,054	26,484,583	1,357,471	12,274,473	9,798,565	2,475,908
未収入金	1,506,100	26,200	1,479,900	2,235,000	4,140,000	△1,905,000
差 額	760,009	1,061,161	△301,132	861,570	711,309	150,261
仮 払 金				861,570	711,309	150,261
立 替 金						
前 払 費 用	92,301		92,301	19,116,133	18,329,369	786,744
2. 固定資産	96,743,325	94,756,622	1,986,703			
(1) 基本財産	94,414,225	92,054,525	2,359,700	94,414,225	92,054,525	2,359,700
基本土地	64,414,225	62,054,525	2,359,700	94,414,225	92,054,525	2,359,700
基本その他	30,000,000	30,000,000		13,521,490	12,040,555	1,480,935
(3) その他固定資産	2,329,100	2,702,097	△372,997	13,521,490	12,040,555	1,480,935
建 物	1,143,848	1,239,563	△95,715	107,935,715	104,095,080	3,840,635
構築物	522,034	522,034				
車輦運搬具	1	70,875	△70,874			
器具及び備品	423,656	796,825	△373,169			
建設仮勘定	166,761		166,761			
電話加入権	72,800	72,800				
資産合計	127,051,848	122,424,469	4,627,379	127,051,848	122,424,469	4,627,379
				負債及び正味財産合計		
				127,051,848	122,424,469	4,627,379

【財団法人 C. W. ニコル、アフアの森財団】  
 (一般会計)

## 正味財産増減計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	67,400	0	67,400
基本財産運用収入	67,400	0	67,400
受取会費	12,590,000	0	12,590,000
アフア会費収入	3,690,000	0	3,690,000
賛助会費収入	8,900,000	0	8,900,000
事業収益	5,122,075	0	5,122,075
その他事業収入	2,774,795	0	2,774,795
収益事業収入	650,810	0	650,810
人材育成事業収入	1,696,470	0	1,696,470
寄付金収入	21,050,162	0	21,050,162
寄付金収入	21,050,162	0	21,050,162
雑収入	170,418	0	170,418
受取利息収入	28,588	0	28,588
その他雑収入	141,830	0	141,830
経常収益計	39,000,055	0	39,000,055
(2) 経常費用			
森林整備事業費	6,761,794	0	6,761,794
森林整備及び施設費	731,884	0	731,884
森林整備人件費	6,029,910	0	6,029,910
調査研究事業費	2,162,286	0	2,162,286
調査研究委託費	1,922,560	0	1,922,560
備品など(調査研究事業費)	239,726	0	239,726
人材育成事業費	848,924	0	848,924
リコー人材育成事業費	848,924	0	848,924
国際交流事業費	26,634	0	26,634
ウェールズ交流費	26,634	0	26,634
心の再生事業費	8,270,414	0	8,270,414
5センスプログラム事業費	8,270,414	0	8,270,414
普及字事業費	4,842,943	0	4,842,943
書籍等仕入	877,340	0	877,340
普及啓発	2,014,461	0	2,014,461
会員交流費	1,951,142	0	1,951,142
管理費	14,606,125	0	14,606,125
職員給与	9,394,748	0	9,394,748
旅費、交通費	279,386	0	279,386



【財団法人 C. W. ニコル・アフアの森財団】  
 (一般会計)

## 正味財産増減計算書

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
雑給(アルバイト)	2,200	0	2,200
法定福利費	1,987,723	0	1,987,723
会議費	56,083	0	56,083
通信運搬費	366,794	0	366,794
支払手数料	280,320	0	280,320
賃貸費(水道光熱費)	449,353	0	449,353
保険料	3,000	0	3,000
消耗品費	723,094	0	723,094
新聞図書費	30,959	0	30,959
租税公課	134,800	0	134,800
福利厚生費	28,778	0	28,778
雑費	58,868	0	58,868
減価償却費(管理)	659,758	0	659,758
除却費引当金繰入額	150,261	0	150,261
経常費用計	37,519,120	0	37,519,120
当期経常増減額	1,480,935	0	1,480,935
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,480,935	0	1,480,935
一般正味財産期首残高	12,040,555	0	12,040,555
一般正味財産期末残高	13,521,490	0	13,521,490
II. 指定正味財産増減の部			
受取補助金等(指定)	2,359,700	0	2,359,700
トラス預かり金により取得	2,359,700	0	2,359,700
当期指定正味財産増減額	2,359,700	0	2,359,700
指定正味財産期首残高	92,054,525	0	92,054,525
指定正味財産期末残高	94,414,225	0	94,414,225
III. 正味財産期末残高	107,935,715	0	107,935,715

## 収支計算書

(一般会計) 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

科目	予算額	決算額	差異	備考
<b>事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
<b>基本財産運用収入</b>	19,000	67,400	-48,400	
基本財産運用収入	19,000	67,400	-48,400	定期預金利息
<b>会費収入</b>	12,000,000	12,590,000	-590,000	
アフアン会費収入	4,000,000	3,690,000	310,000	
賛助会費収入	8,000,000	8,900,000	-900,000	
<b>事業収入</b>	4,400,000	5,116,695	-716,695	
その他事業収入	2,000,000	2,774,795	-774,795	kikyo・アムウェイ事業 他
収益事業収入		645,430	-645,430	書籍・グッズ
人材育成事業収入	2,400,000	1,696,470	703,530	リコー親子自然教室
<b>寄付金収入</b>	22,000,000	21,050,162	949,838	
寄付金収入	22,000,000	21,050,162	949,838	アムウェイ・インタージ・DeNA 他
<b>助成金収入</b>	1,500,000	0	1,500,000	
助成金収入	1,500,000	0	1,500,000	
<b>雑収入</b>	51,500	175,798	-124,298	
受取利息収入	1,500	28,588	-27,088	
その他雑収入	50,000	147,210	-97,210	
<b>事業活動収入計</b>	<b>39,970,500</b>	<b>39,000,055</b>	<b>970,445</b>	
<b>2. 事業活動支出</b>				
<b>森林整備事業費</b>	6,150,000	6,761,794	-611,794	
森林整備及び施設費	350,000	731,884	-381,884	チップ・苗木・燃料
森林整備人件費	5,800,000	6,029,910	-229,910	
<b>調査研究事業費</b>	1,500,000	2,162,286	-662,286	
調査研究委託費	1,400,000	1,922,560	-522,560	kikyo・水生生物 他
備品など(調査研究事業費)	100,000	239,726	-139,726	
<b>人材育成事業費</b>	1,400,000	848,924	551,076	
リコー人材育成事業費	1,400,000	848,924	551,076	親子自然教室
<b>国際交流事業費</b>	200,000	26,634	173,366	
ウェールズ交流費	200,000	26,634	173,366	
<b>心の再生事業費</b>	9,000,000	8,270,414	729,586	
5センスプログラム事業費	9,000,000	8,270,414	729,586	心の森
<b>普及事業費</b>	6,600,000	4,842,943	1,757,057	
書籍等仕入	600,000	877,340	-277,340	
普及啓発	6,000,000	2,014,461	3,985,539	
会員交流費	0	1,951,142	-1,951,142	集い・法人会員交流会
<b>管理費支出</b>	13,450,000	13,796,106	-346,106	
職員給与	8,500,000	9,394,748	-894,748	
旅費、交通費	500,000	279,386	220,614	
雑給(アルバイト)	200,000	2,200	197,800	
法定福利費	2,000,000	1,987,723	12,277	
会議費	200,000	56,083	143,917	
通信運搬費	300,000	366,794	-66,794	
支払手数料	300,000	280,320	19,680	
賃貸費(水道光熱費)	450,000	449,353	647	
保険料	50,000	3,000	47,000	
消耗品費	400,000	723,094	-323,094	
新聞図書費	20,000	30,959	-10,959	
租税公課	200,000	134,800	65,200	
福利厚生費	30,000	28,778	1,222	
雑費	300,000	58,868	241,132	
<b>事業活動支出計</b>	<b>38,300,000</b>	<b>36,709,101</b>	<b>1,590,899</b>	
<b>事業活動収支差額</b>	<b>1,670,500</b>	<b>2,290,954</b>	<b>-620,454</b>	

科目	予算額	決算額	差異	備考
. 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
固定資産取得支出		286,761	-286,761	
什器備品購入支出		120,000	-120,000	パソコン
建設仮勘定購入支出		166,761	-166,761	ビクターセンター
投資活動支出計		286,761	-286,761	
投資活動収支差額	0	-286,761	286,761	
. 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計				
2. 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額	0	0		
. 予備費支出				
当期収支差額	1,670,500	2,004,193	-333,693	
前期繰越収支差額	10,049,767	10,049,767	0	
次期繰越収支差額	11,720,267	12,053,960	-333,693	

## 財務諸表に対する注記

### 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

当法人は投資目的の有価証券を保有しない。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

取得原価法および実地棚卸法

#### (3) 固定資産の評価基準及び評価方法

- ・ 定額法により償却計算をおこなった。
- ・ 貸借対照表への計上は直接法によっている。
- ・ 耐用年数は、法人税法の耐用年数を援用した。
- ・ 残存価格は、除却時の売却を想定しないので0円とした。

#### (4) 引当金の計上基準

耐用年数の経過により利用ができなくなる有形固定資産について除却費を見積り利用に応じて除却費を認識し計上している。

### 基本財産の増減額及びその残高

基本財産	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土地	62,054,525	2,359,700		64,414,225
定期預金	30,000,000			30,000,000
合計	92,054,525	2,359,700	0	94,414,225

### 基本財産の財源等の内訳（指定正味財産から一般正味財産への振替額）

基本財産	当期末残高	うち指定正
		味財産から の充当額
土地	64,414,225	2,359,700

### 固定資産の減価償却方法

建物・備品車両は、経年および、利用により利用価値の減少が想定される。

これらの資産は、企業会計にいて一般におこなわれる減価償却の手法により下記により費用化をおこなった。なお、減価償却費は事業費として計上している。

- 定額法により償却計算をおこなった。
- 貸借対照表への計上は直接法によっている。
- 耐用年数は、法人税法の耐用年数を援用した。
- 残存価格は、除却時の売却を想定しないので0円とした。

なお、各勘定の減価償却の明細は次のとおりである。

建物	取得日	取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価格
ゲストハウス	設立時	865,513	216,377	649,136
グラフィティ	設立時	282,585	100,922	181,663
グラフィティ	2003.10.13	490,518	81,752	408,766
<b>建物合計</b>		1,638,616	399,051	1,239,565

備品	取得日	取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価格
除雪機	設立時	513,208	513,208	0
野営用テント	設立時	121,039	121,039	0
野営用テント	2003.11.25	577,500	577,500	0
パソコン	2003.4.21	155,190	103,460	51,730
マルチメディアボード	2002.4.1	1,850,000	1,665,000	185,000
コピー機	2002.10.1	1,193,000	1,073,700	119,300
パソコン	2004.6.2	172,500	97,750	74,750
両面コピーオプション	2004.10.20	168,957	140,797	28,160
リコーレーザープリンター	2004.12.20	200,130	93,394	106,736
発電機	2005.11.8	107,100	15,172	91,928
パソコン DynaBook	2005.12.10	179,000	39,777	139,223
<b>備品合計</b>		5,237,624	4,440,797	796,827

車両	取得日	取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価格
軽トラック	2004.3.3	189,000	118,125	70,875

### 除却費引当金の計上

有形固定資産は耐用年数の経過により利用ができなくなる。利用を終了した場合には、財団の環境を維持するために除却の費用が発生する。除却費引当金は、有形固定資産の利用に応じて除却費の発生を認識し計上している。

この明細は、次のとおりである。

建物		見積除去費	
		用	除却費引当金累計額
ゲストハウス	設立時	1,000,000	300,000
グラフィティ	設立時	300,000	128,570
		1,300,000	428,570

備品		見積除去費	
		用	除却費引当金累計額
除雪機	設立時	30,000	45,000
野営用テント	設立時	100,000	300,000
マルチメディアボード	2002/4/1	20,000	20,000
コピー機	2002/10/1	20,000	20,000
パソコン	2004/6/2	20,000	16,000
リコーレーザープリンター	2004/12/20	20,000	16,000
発電機	2005/11/8	20,000	6,000
パソコン DynaBook	2005/12/10	20,000	10,000
	備品合計	250,000	433,000
	除却引当金合計	1,550,000	861,570

## 関連当事者との取引の内容

属性 名称 職業	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
理事長 C.W.ニコル 作家	事務所家賃	360,000	支払家賃	0
専務理事 森田いづみ 株式会社C・Wニコルオフィス 代表取締役	普及広報交渉他	400,000	普及事業費	0
運管理事 野口理佐子 人と自然の研究所 代表	各事業普及 広報交渉運営他	3,284,260	普及事業費他	3,284,260
監事 畔上保水 郡司・畠田法律会計事務所	法人税申告手数料	50,000	手数料	50,000
監事 吉田寛 公会計研究所 代表	会計処理手数料	200,000	手数料	200,000

## 監事報告

財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団の第5事業年度(自2007年4月1日  
至2008年3月31日)の会計報告について監査した。

この結果、会計報告は適切に財団の事業の内容を表示していると認める。

2008年 月 日

財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団

監事

---

畠田 洋平

監事

---

吉田 寛